（別紙６）

公表　訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名
育児・発達支援室　ここん

公表日　2026年　3月　31日

利用児童数　2026年　3月　31日　　回収数10

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8	1		学校教育の場で取り組める観点での助言がうれしいです。	嬉しいご意見大変ありがとうございます。今後も専門性を高めていくために研鑽してまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9	1			
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9	1			
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7	2	1		
5	事業所からの支援に満足していますか。	9	1		実施の間隔が狭いように感じる。	訪問開始時期はお子さんのいろんな姿を捉えられるよう、様々場面で訪問をさせていただきました。今後必要頻度を適宜ご相談できるように努めて参ります。

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
・学校は教科担任制などを行なっていて、なかなか担任が個に寄り添う（個別支援学級と同じ程度には支援が難しい）のは難しいことは、現状として伝えたものの、どこまでの状況なのか、月2回では実際の把握が難しいのではないかと思う。 ・振り返り（発問の意図、授業の内容について、支援について）などを確保する時間がなかなか取れない ・学校行事と訪問日時を調整するのが少し大変でした。 ・振り返り（発問の意図、授業の内容について、支援について）などを確保する時間がなかなか取れない ・いつも的確に助言をくださり、私自身が本人の実態を改めて深く捉えることにつながっています。今後ともよろしくお願いいたします。 ・いつも自分に無い視点からの適切な支援方法を提示してくださって、来ていただくようになってから子どもたちの成長をより感じるようになりました。個別級の子どもたちは特に、スモールステップで課題に取り組むことが多いため、一人一人に合わせた支援、アプローチの仕方の引き出しを広げることができました。来年以降も、教えていただいた支援方法を活かして子どもたちに関わるのが楽しみです。 ・いつも温かく子どもたちを見てくださり、そして相談やアドバイスもいただけていつも感謝しています。子どもたちの成長も一緒に喜んでくれることや悩みに寄り添ってくれることにいつも助けられています。 ・学校は教科担任制などを行なっていて、なかなか担任が個に寄り添う（個別支援学級と同じ程度には支援が難しい）のは難しいことは、現状として伝えたものの、どこまでの状況なのか、月2回では実際の把握が難しいのではないかと思う。 ・どういう支援や対応をしたらいいか悩んだ時に、すぐに実践出来そうな具体的で的確な支援方法を教えていただき大変助かっています。それぞれの特性をマイナスに捉えてしまいますがもっとプラスに違う言い方で考えていいんだ、と気持ちが少し軽くなります。 ・保育所等訪問支援をお願いしているお子さんだけでなく、周りのお子さんの支援につながることも多く、私自身も学びになることばかりです。"□ □ □	貴重なご意見ありがとうございます。教科担任制の中での個別支援の難しさ、また、月2回の訪問による状況把握へのご懸念について、真摯に受け止めております。 よりお子様に合った支援体制を構築するため、現在の訪問頻度につきまして、ご家族様や学校の先生方と改めて検討させていただければと存じます。 また、日々の連携をさらに深めるため、今後は定期的に状況を共有し、必要に応じて支援の振り返りを行う会議の場を設けさせていただきたいと考えております。 訪問日程や振り返りの時間調整、いつもありがとうございます。 お子様の目指したい姿に向けて、先生方とも活発な意見交換をする機会は可能な限り設けたいと考えております。先生方の業務に支障が出ない範囲内でご相談させていただきたいと思います。□ □ □ □ □ □ □ □